

市井の人々が知恵や機転で権力に立ち向かう痛快な物語や、華麗な剣さばきが魅力の時代小説、史実や歴史上の人物を題材として描かれる歴史小説。これらの作品は義理と人情、志と野望、時に非業な運命など様々な美意識や人間模様を映し出しています。

時代小説・歴史小説が描いているものは何なのか。作家は「江戸」という時代を通して何を伝えたかったのか。江戸に生きた人々を描きながら、現代を生きる我々に伝えるメッセージとは何かを探ります。

高知県は多くの時代小説・歴史小説作家を輩出しています。現在活躍中の志水辰夫、辻堂魁、山本一力、藤原緋沙子、畠中恵らの時代小説や、土佐の人物を数多く描いた司馬遼太郎や大岡昇平の歴史小説など、高知ゆかりの作家・作品の魅力をお楽しみください。



『婉の手帳』
本山町立大原富枝文学館所蔵
昭和19年に大原富枝が婉の手紙
19通を書き写したものだ。



『婉という女』
大原富枝著／講談社



『風の市兵衛』
『母子草 風の市兵衛 式』
辻堂魁著／祥伝社文庫



『絵師金蔵 赤色浄土』
藤原緋沙子著／祥伝社



『竜馬がゆく 回天篇』
司馬遼太郎著／文藝春秋



『竜馬がゆく』
挿絵画稿1179回／岩田専太郎画

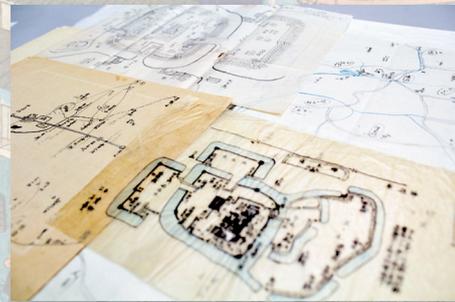
新収蔵資料



『つばくろ越え 蓬萊屋帳外控』
志水辰夫著／新潮文庫



『落城』
田宮虎彦著／東京文庫



田宮虎彦『落城』関係資料 若松城要図など



『江戸名所百人美女 尾張町』3代 歌川豊国画

松平 定知氏 記念講演会

「その時歴史が動いた～歴史は人間ドラマ～」

開催日時：令和6年 2月4日(日)
開場 午後1:00
講演 午後2:00～3:30
場所：高知県立高知追手前高等学校芸術ホール
定員：500名 ※応募多数の場合は抽選
参加費：無料
申込方法：往復はがきに下記内容を記載の上お送りください。①住所 ②氏名 ③電話番号 ④参加人数 (1枚につき4名まで)
※抽選結果は文学館からの返信はがきでご確認ください。参加には返信はがきが必要です。

申込締切：令和6年 1月10日(水) 当日消印有効



松平 定知氏
元NHKアナウンサー
京都芸術大学教授

1969年 NHK入局後、すぐ、高知放送局に5年間勤務。NHKアナウンサーとして数々のニュースやNHKスペシャル「新シルクロード」「世紀を越えて」「マネー資本主義」、「その時歴史が動いた」など数々の名番組を担当。現在は京都芸術大学で教授を務め、担当する朗読講座では、「作品を前にしての作者との対話。それこそが朗読の醍醐味」という信念のもと、藤沢周平作品などを朗読。一字一句を疎かにせず、書いてあることそのままに読む大切さを伝える。本講演では、藤沢周平作品に通暁する松平氏ならではの視点で藤沢周平から見た庶民の生活や、武士について、藤沢周平作品を中心とした時代小説の朗読を交えながらお話させていただきます。

江戸いろはかるたで遊ぼう!

江戸いろはかるた大会を行います。優勝者には江戸にちなんだ賞品をプレゼント!参加者全員に昔遊びのおもちゃをご用意しています。

日時：令和6年 1月21日(日)
①午前10:00～ ②午後1:30～
③午後3:00～
場所：高知県立文学館 1階ホール
参加費：要当日観覧券
申込：電話または文学館受付にて事前申込 (各回定員30名)

時代・歴史小説文学散歩

高知城を中心に、時代・歴史小説のゆかりの地をめぐる。

日時：令和6年 2月12日(月・祝)
午後1:00～4:00
集合場所：高知県立文学館 1F ホール
参加費：要当日観覧
申込：電話または文学館受付にて事前申込 (定員20名)

姫君たちの嫁入道具、貝合わせを作る



姫君たちの婚礼調度品として大切な品だった貝合わせ。桃の節句に合わせて、現代風にアレンジした貝合わせを作ってみませんか。

日時：令和6年 2月23日(金・祝)、3月3日(日)
午後1:00～4:00
場所：高知県立文学館 1F ホール
参加費：要当日観覧券+材料費500円
申込：電話または文学館受付にて事前申込 (各日定員20名)

朗読の会「時代小説・歴史小説を読む」

当館カルチャーサポーターによる朗読です。

日時：令和6年 3月16日(土)
午後2:00～4:00
場所：高知県立文学館 1階ホール
参加費：無料
申込：不要 (当日、直接会場までお越しください)

展示解説

展示会担当者による展示解説

日時：毎週土曜日
午後1:30～(30分程度)
場所：高知県立文学館 2階企画展示室
参加費：要当日観覧券
申込：不要 (当日、直接会場までお越しください)